

機能/仕様一覧表

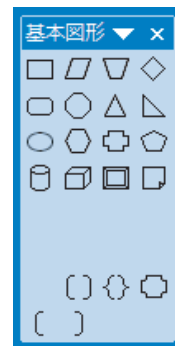
帳票デザインファイル(Excel®シート)に設定されたExcel®の各種設定が、プレビューや印刷、PDF形式での出力時に反映されるかを表しています。

【○ = 反映する、× = 反映しない】

Excel®メニュー	設定項目	VB-Report(*1) 帳票出力時にExcel®を使用(*2)		
		プレビュー/ 印刷/PDF(*3)	プレビュー	印刷
[ファイル]-[ページ設定]-ページ	印刷の向き(縦/横)、拡大縮小印刷(拡大/縮小10~400%)、用紙サイズ 拡大縮小印刷(横1~32767×縦1~32767)	○ ×	○ ×	○ ○
[ファイル]-[ページ設定]-余白	上、下、左、右、ヘッダ、フッタ、ページ中央(水平、垂直)	○	○	○
[ファイル]-[ページ設定]-ヘッダ/フッタ [左側/中央部/右側]	左詰、中央揃え、右詰、二重下線、上付き文字、下付き文字、太字、斜体、下線付き、取り消し線、日付、時刻、シート見出し名、ページ番号、ページ番号に<数値>を加えた値、ページ番号に<数値>を引いた値、&を1つ、フォント名、フォントサイズ、総ページ数	○	○	○
[ファイル]-[ページ設定]-シート	枠線 ページの方向(左から右へ/上から下へ)	× ○	× ○	○ ○
[挿入]-[グラフ]	標準/組み込み/ユーザー定義	×	×	○
[挿入]-[オブジェクト]	新規作成/ファイルから	×	×	×
[挿入]-[図>(*4)	クリップアート ファイルから オートシェイプ(*5) ※図1対応するオートシェイプを参照 組織図 ワードアート	× ○ ○ ×	× ○ ○ ×	○ ○ ○ ○
[挿入]	改ページ マップ	○ ×	○ ×	○ ○
[書式]-[セル]-表示形式	分類、種類	○	○	○
[書式]-[セル]-配置	横位置・標準・左詰め(インデント1~15)・右詰め(インデント1~15)・中央揃え・右詰め・両端揃え・選択範囲内で中央・均等割り付け 縦位置・上詰め・中央揃え・下詰め・両端揃え・均等割り付け 文字の制御・折り返して全体を表示する、縮小して全体を表示する、セルを結合する 方向・縦書き・-90~90度 横位置・繰り返し	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
[書式]-[セル]-フォント(*6)	フォント名、スタイル(標準/斜体/太字/太字斜体)、サイズ(1~409)、下線(なし/下線/二重下線)、色、取り消し線、上付き、下付き	○	○	○
[書式]-[セル]-罫線	上・下・左・右・左上がり・右上がり、スタイル(14種)、色	○	○	○
[書式]-[セル]-パターン	色、パターン	○	○	○
[書式]-[セル]-保護	表示しない	×	×	○
[書式]-[スタイル]	スタイル名、表示形式、配置、フォント、罫線、パターン	○	○	○
[書式]-[行]-[列]	高さ(*7)、幅(*7)、標準の列幅(*7)、表示しない	○	○	○
[書式]	オートフォーマット	×	○	○
[ページレイアウト]	テーマ(*8)	○	○	○
その他	フルカラー設定(*8)	○	○	○

- (*1) VB-Reportは、Excel®を使用せずVB-Report独自の技術によりプレビュー、印刷することができます。
○=Excel®を使用しない場合でも、帳票結果に反映されるもの
- (*2) VB-Reportは、実行環境にインストールされたExcel®を使用してプレビュー、印刷することができます。
○=Excel®を使用することで帳票結果に反映されるもの
- (*3) PDFファイルの制限により、若干の違いが生じる場合があります。
- (*4) 透過画像には対応していません。
- (*5) 3D、影、グラデーション、テクスチャには対応していません。
- (*6) 同一セル内で複数のフォントを設定することはできません。
- (*7) VB-ReportとExcel®では、行の高さや列の幅の算出方法に違いがあるため、双方で出力した結果を比較した場合、高さや幅に若干の違いが生じる場合があります。
- (*8) xls形式のみ対応。

図1 対応するオートシェイプ



上記の他、直線、矢印、テキストボックス、縦書きテキストボックスも、帳票デザインで使用することができます。

ライセンス

VB-Reportのランタイムファイルは、クライアント環境への再配布時のみロイヤリティフリーです。サーバー環境へ再配布する場合は、別途「サーバーライセンス」が必要となりますので、詳しくは弊社までお問合せ下さい。 ※(VB-Report 7.0 for .NETのみ)

必要システム (*1)(*2)

【開発環境】 x86(32ビット)システムに対応		【実行環境】 x86(32ビット)/x64(64ビット)システム対応	
OS	Windows® 2000(SP4以上) (*3)/XP(SP2以上)/Vista® (SP1以上) Windows Server® 2003(SP2以上)/2003 R2(SP2以上)/2008(SP1以上)	OS	Windows® 2000(SP4以上) (*3)/XP(SP2以上)/Vista® (SP1以上) Windows Server® 2003(SP2以上)/2003 R2(SP2以上)/2008(SP1以上)
開発ツール	Visual Studio® 2005(*3)/2008	フレームワーク	.NET Framework 2.0(SP1以上) (*3)/3.0(SP1以上)/3.5
対応言語	Visual Basic®, .NET, Visual C#® (Windowsアプリケーション/ASP.NET/WPFアプリケーション)	Web サーバー/ ブラウザ	Internet Information Services 6.0以上/ Internet Explorer® 6.0(SP1) 以上
ハードディスク/メモリ	30MB以上の空き領域/512MB以上(推奨1GB以上)	対応する Excelバージョン	Excel® 2000/2002/2003/2007

(*1) 日本語版環境でのみ動作保証を行っております。
(*2) VB-Report 7.0 for .NETのみ
(*3) WPF用コンポーネントは対象外となります。

■標準価格 81,900円(税込み)1クライアント開発ライセンス

販売に関するお問合せは下記をご利用下さい。

ホームページ ▶ <http://www.adv.co.jp/>



〒918-8239 福井県福井市成和1丁目2816番地
Tel.0776-21-9008(代) FAX.0776-21-9022 E-mail:info@adv.co.jp

※表記中の会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
※仕様は品質改良の為、予告無く変更することがあります。

取扱店

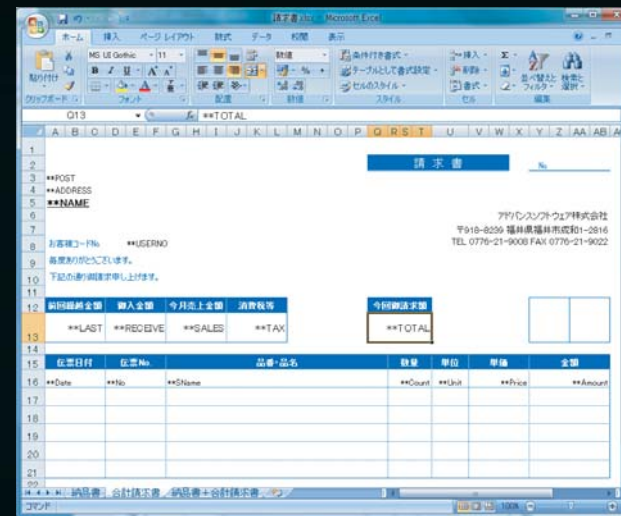


帳票デザイナーはExcel!
xlsx形式、xls形式、両形式に対応
単純な固定帳票ならノンプログラミングで帳票作成

「Excel」から流れる帳票

VB-Report 7

Excel®との連携をさらに深めたフレキシブルな帳票作成ツール



Excel®の豊富な修飾機能で美しい帳票

VB-Report 7は、Microsoft® Excel®で帳票をデザインする帳票ツールです。帳票ツール独自のデザイナー機能はなく、使い慣れたExcel®がそのまま帳票デザイナーとなります。フォント、罫線、表示形式などの多彩なセル書式設定の他、オートシェイプや図の挿入などで美しい帳票デザインを作成することができます。エンドユーザー自身がちょっとした変更をしたい場合にも、デザイナーがExcel®であることが威力を発揮します。

xlsx形式、xls形式の両方のファイル形式に対応

xlsx形式、xls形式それぞれに対応したコンポーネントと、統合されたビューアコントロールで、目的の形式の帳票がフレキシブルに作成できます。また、Windows Formアプリケーション用のビューアコントロールの他に、ブラウザ用のActiveXビューアコントロールやWPFアプリケーション用のビューアも付属しているため、さまざまなシーンにおいて帳票を出力することができます。

帳票デザイン時に使用可能なExcel®の修飾機能*

表示形式	カンマ区切り、通貨、小数点桁指定、負数、パーセンテージ、指数、分数、日付、時刻、ユーザー定義	罫線	上、下、左、右、左上がり、右上がり、線種13種、色 セルパターン、色/セル高さ、幅、表示しない セルパターン、色/セル行高(0~409ポイント)、セル列幅(半角0~255文字)、0で行・列表示なし
セル書式	横位置:標準左詰め(インデント1~15)、中央揃え、右詰め、両端揃え、選択範囲内で中央、均等割り付け 縦位置:上詰め、中央揃え、下詰め、両端揃え、均等割り付け 文字の制御:折り返して全体を表示する、縮小して全体を表示する、セルを結合する 方向:縦書き、-90度~90度	ページ設定	印刷向き、用紙サイズ(定型用紙、ユーザー定型用紙)、拡大縮小印刷、印刷タイトル 余白(上、下、左、右、ヘッダー、フッター)、ページ中央(水平、垂直)
フォント	フォント名、フォントスタイル(標準、斜体、太字、太字斜体)、フォントサイズ(1~409)、下線(なし、一重下線、二重下線)、フォントの色、文字飾り(取り消し線、上付き、下付き)	ヘッダー フッター	左詰め、中央揃え、右詰め、二重下線、上付き文字、下付き文字、太字、斜体、下線付き、取り消し線、日付、時刻、シート見出し名、ページ番号、フォント名、フォントサイズ、総ページ数
		グラフ/ オブジェクト	グラフ、オートシェイプ22種、図の挿入(bmp、emf、gif、jpg、png、wmf形式等)

*上記には、帳票プレビュー・印刷時Excel®を使用することで反映される機能もあります。詳しくはカタログ裏面をご覧ください。

シンプルな手順で帳票を出力

帳票の出力は、たった3段階のコーディングで実現可能です。

```

コーディング例(C#)
// ①-1帳票ドキュメントの作成を開始します。
xlsxReport1.Report.Start();
// ①-2デザインファイル名を指定します。
xlsxReport1.FileName = @"vbreport.xls";
// ①-3帳票の作成を開始します。
xlsxReport1.Report.File();
// ②-1デザインシートを指定し、
xlsxReport1.Page.Start("Sheet1", "1");
// ②-2セルに値を設定します。
xlsxReport1.Cell("A1").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// ②-3ページ処理の終了。
xlsxReport1.Page.End();
// ③-1帳票ドキュメント作成の終了
xlsxReport1.Report.End();
// ③-2作成した帳票ドキュメントをビューアに設定します。
viewerControl1.Document = xlsxReport1.Document;

```

プログラム上で簡単に帳票デザインを変更

VB-Report 7は、読み込んだデザインファイルの指定シートに対して、プログラム上でセル、列、行単位でのコピー、クリア、削除およびセルの罫線や背景色、表示形式等のセル書式を変更することができます。そのため一種類のデザインファイルから明細行が可変の帳票や、レイアウトが微妙に異なる複数種類の帳票をプログラム上で簡単に出力できます。

簡単なセルへのデータ挿し込み

変数名、セル位置(A1参照形式)、セル名、座標によるセル指定により、簡単にセルヘデータを挿し込むことができます。

▼変数名によるセル指定

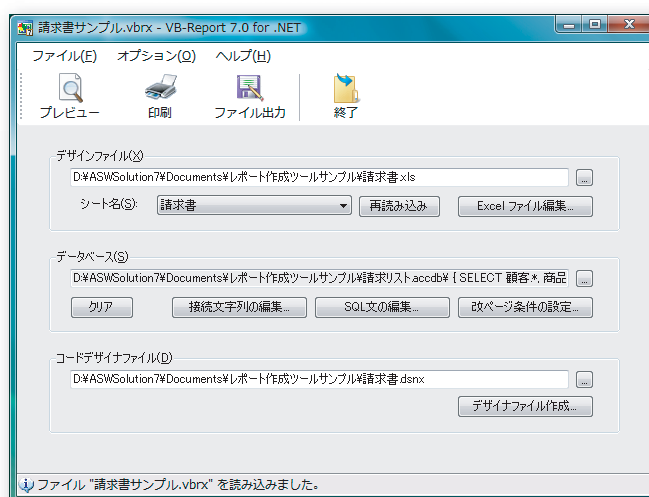
VB-Report 7では、セル値の先頭に*(アスタリスク)が2つ付いた文字列を変数名として扱います。あらかじめデザインシートのセルに記述した変数名を指定してデータの差し込みができます。変数名を識別する先頭文字列を任意の文字列に変更することもできます。

```

コーディング例(C#)
// **Nameと設定された全てのセルに
// "アドバンスソフトウェア株式会社"を設定します。
xlsxReport1.Cell("**Name").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// A1参照形式によるセル指定
xlsxReport1.Cell("B1").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// セル名によるセル指定
// 予め Excelで名前を設定したセルを指定
xlsxReport1.Cell("Name").Value="アドバンスソフトウェア株式会社";
// 座標形式によるセル指定
xlsxReport1.Pos(1, 0).Value="アドバンスソフトウェア株式会社";

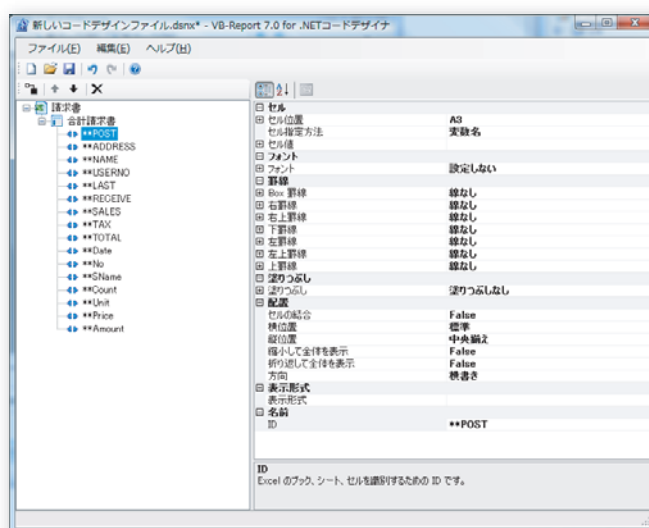
```

簡単な固定帳票はノンプログラミングで



簡単な固定帳票は付属のレポート作成ツールを使用してノンプログラミングで作成することができます。また、設定するデータや罫線、背景色等の基本レイアウトは、コードデザイナの使用により簡単に作成することができ、コンパクトな帳票を何種類も作成するような時に威力を発揮します。

新しく追加されたコードデザイナ



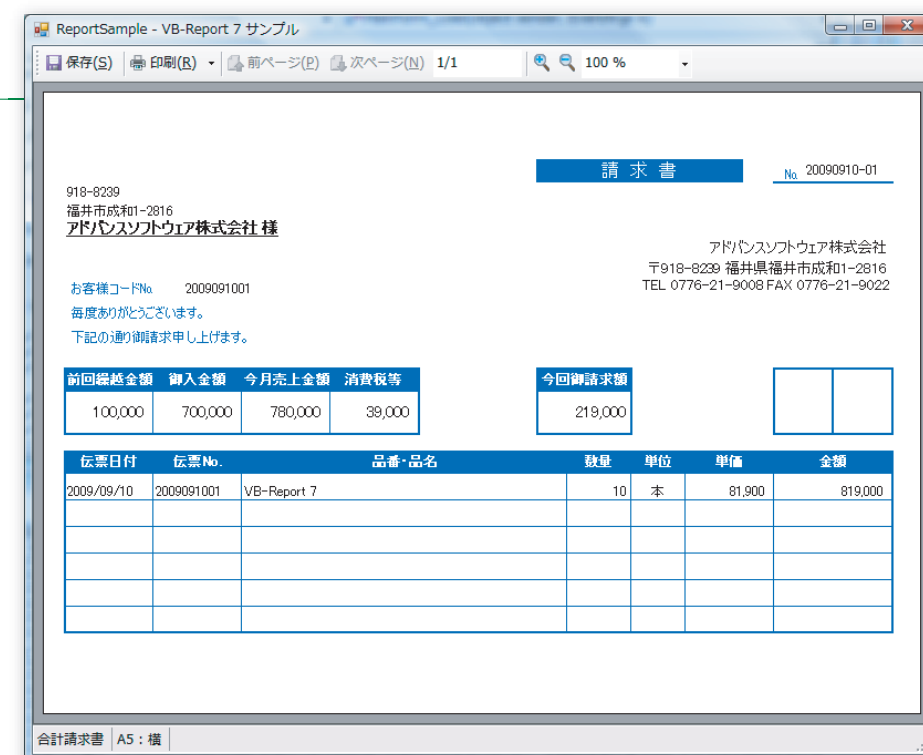
複数のセルに書式やデータを設定する場合、Excel®がインストールされた環境では、新しく追加されたコードデザイナ上にExcel®から直接的セルをドラッグ&ドロップし、展開したそれぞれのセルに対してデータソースや表示形式、罫線、背景色等を設定して、ソースコードを自動生成することができます。

統合された帳票ドキュメントとビューアコントロール

ビューアコントロール

VB-Report 7のビューアコントロールは、xlsx形式、xls形式のどちらの形式を使用して帳票を作成しても区別なくプレビュー/印刷/PDFファイルの保存を行うことができます。実行環境にExcelがインストールされている場合は、Excel®を使用してプレビュー/印刷を行うことができ、Excel®ファイルへの保存も可能です。また、ビューアコントロールは、プログラム上でプロパティの設定によりカスタマイズすることが可能で、オリジナルのプレビュー機能を持たせることもできます。

カスタマイズ可能なビューアコントロール



- ・ビューアコントロールをフォームに貼り付け、DockプロパティをFillに設定するだけでプレビューウィンドウが作成できます。
- ・ツールバー、ステータスバーを非表示にできるので、独自のユーザーインターフェースにカスタマイズできます。
- ・ツールバーの各ボタンを非表示、無効にできるので、必要な機能だけを利用できます。
- ・印字可能領域や余白を表示させることができます。

※VB-Report Ver3.6、VB-Report Ver3.0のプレビューは若干イメージが異なります。

Web帳票でも様々な出力に対応

Web用コンポーネントを使用してサーバー上で帳票を作成し、クライアントに配信することができます。専用のActiveXビューアコントロールを使用すれば、ブラウザ上で帳票のプレビュー/印刷/保存を行うことができます。また、作成した帳票をExcel®, PDFファイルで出力することも可能です。

その他

WPF用のビューアコントロール

WPF (Windows Presentation Foundation)用のビューアコントロールを付属しているので、WPFアプリケーションに組み込んで帳票の出力を行うことができます。

バーコードクラスを標準添付

2次元バーコードのQRコード、PDF417をはじめ、主要な1次元バーコード、郵便カスタマバーコードを生成することが可能なバーコードクラスを付属しているので、バーコード付き帳票を作成することができます。

図、オートシェイプの対応

従来からのクライアントコンポーネントに加え、Webコンポーネントでもプログラム中から図やシェイプを挿入することができます。 ※プレビューとExcel®を使用しない印刷では一部のみ対応。

プログラム納入後でも再コンパイルの必要が無いレイアウト変更

デザインファイルは、Excel®ファイルのまま実行可能ファイルに関連付けることができます。帳票デザインを変更しても実行可能ファイルの再コンパイルは不要です。

デザインファイルの埋め込み機能

デザインファイルをプログラムに埋め込むことにより、配布の手間を軽減すると同時に、デザインファイルの変更を防ぐこともできます。

サンプルプログラムとオンラインヘルプで強力バックアップ

豊富なサンプルプログラムとオンラインヘルプでプログラミングを支援します。

64ビット版 OSにも対応

64ビット版のサーバー、クライアントOS上の動作にも対応しているため、さまざまな環境で使用することができます。

ActiveX版を含むユースフルな製品構成

VB-Report 7は、下記の3製品を収録した製品となります。

VB-Report 7.0 for .NET	.NET環境で xls、xlsx形式両方のデザインファイル扱える最新版
VB-Report Ver3.6	ActiveX環境でxlsx形式のデザインファイル扱うための最新版
VB-Report Ver3.0	ActiveX環境でxls形式のデザインファイル扱うための最新版